

2021年度

3年次編入学試験

学生募集要項

家政学部

家政学科

家政学専攻

管理栄養士専攻

こどもの生活専攻

愛知学泉大学

建学の精神・教育目標

目的

目的は、「建学の精神」の実践を通して、創立者が目指した経済的・政治的・文化的に自立できる社会人を育成することによって、地域と国際社会に貢献することである。

建学の精神

宇宙の中の一つの生命体である人が、個人として自立しつつありとあらゆる生命体と共生することによって、生きる意志と生きる力と生きる喜びに満ち溢れた鵬のような大局的な存在となること。

教育目標

教育目標は、社会的に自立して生きていく上で必要な①スキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能、②職業に関する専門的知識・技能、③建学の精神・社会人基礎力・pisa型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けて、地域及び国際社会に貢献する社会人を育成することである。

教育方針

「智・徳・体・感・行」に基づいた3つの挑戦プログラムから構成される自学・共学システムを開発し、これに基づいて教育を行う。

家政学部教育目標

「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神の実践を通して社会的に自立して生きていく上で必要な①スキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能と②家政に関する専門的知識・技能と③建学の精神・社会人基礎力・pisa型学力を統合的に身に付け、社会に出てからは、これらの知識・技能をベースに生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域の課題解決に貢献できる人材を育成する。

各学科の教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーについてはP6～をご確認ください。

新型コロナウイルス等における対応

試験実施時期に「緊急事態宣言」等が発令された場合は、試験日・試験会場、試験実施方法等の変更を行う場合があります。詳細は、本学ホームページにてお知らせいたします。

【お問い合わせ先】

入試広報室
電話：0564-34-1215

受験生のみなさまへ～お知らせ～

○受験上、身体に障がいがある場合、その種類や程度によっては、施設設備の関係上、修学に支障をきたすこともありますので、出願前に入試広報室へお問い合わせください。

○個人情報保護について

入学試験で得た個人情報は厳重に管理し、「入試実施・合否判定・結果通知・入学手続・入学後の学籍情報の一部」などの利用目的で使用いたします。

ご不明な点がございましたらお問い合わせください。

募集人員 / めざせる免許・資格

学部	専攻	募集人員（男女）	めざせる免許・資格
家政学部	管理栄養士専攻	若干名	管理栄養士国家試験受験資格 栄養士免許 栄養教諭一種免許状 食品衛生管理者任用資格 食品衛生監視員任用資格
	家政学専攻	若干名	中学校教諭一種免許状（家庭） 高等学校教諭一種免許状（家庭） フードスペシャリスト 博物館学芸員 社会教育主事任用資格
	こどもの生活専攻	若干名	小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状 社会教育主事任用資格 *保育士資格は取得できません。

※ 栄養教諭一種免許状取得希望者は、事前に入試広報室へご相談ください。

出願資格

次の各号のいずれかに該当する者および2021年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

1. 短期大学を卒業した者または卒業見込みの者。
2. 大学を卒業した者または学士の学位を授与された者。
3. 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者または修了見込みの者。
4. 管理栄養士専攻への出願は、栄養士免許取得者または取得見込者に限る。
5. こどもの生活専攻への出願は、幼稚園教諭二種免許状、保育士資格取得者及び取得見込者に限る。

※出願予定の方は、最終学歴校での単位修得（見込）証明書を出願前に下記期日までに提出して、履修状況を確認してください。

提出期日：前期 2020年10月14日（水） 後期 2021年1月7日（木）

選抜方法

小論文・面接・書類審査による総合判定

出願期間

前期：2020年10月15日（木）～2020年10月26日（月） 消印有効

後期：2021年1月7日（木）～2021年1月21日（木） 消印有効

入試日程

	試験日	合格発表	第1回入学手続	第2回入学手続
前期	2020年 11月1日（日）	2020年 11月7日（土）	2020年 11月27日（金）	2021年 1月29日（金）
後期	2021年 1月27日（水）	2021年 2月5日（金）	2021年 2月15日（月）	2021年 2月26日（金）

試験場

岡崎キャンパス

試験時間割

開場	着席完了	小論文	面接
9:00～	9:50	10:00～11:00	小論文終了後実施

出願書類

次の書類を揃えて出願してください。不足・不備があった場合は受理できません。

○志願票一式

- 受験票 (A 票)
- 写真票 (B 票) ※写真票 (B 票) は 2 枚必要です。
- 入学志願票 (C 票) ※取扱銀行収納印、コンビニエンスストア「入学検定料収納証明書」、クレジットカード決済 (受付番号12ケタを記入すること) のいずれかの証明があるもの。

○最終出身学校の卒業 (見込) 証明書 ※在籍校及び出身校が作成し厳封されたもの。

○単位修得 (見込) 証明書 ※在籍校及び出身校が作成し厳封されたもの。

○成績証明書 ※在籍校及び出身校が作成し厳封されたもの。

○志望理由書 ※巻末の所定用紙を使用。

○履歴書 ※巻末の所定用紙を使用。

○住所シール ※同封の所定用紙へ入学試験結果通知を郵送する住所・氏名を直筆で縦 2 列に記入されたもの。

[注意事項]

1. 入学書類は必ず本学指定の「出願書類在中」と印刷された封筒で書留速達にて郵送してください。
※直接、岡崎キャンパスへお持ちいただくことも可能。
2. いったん提出した出願書類、入学検定料はいかなる理由でも返還いたしません。
3. 志願票一式 (A 票・B 票・C 票) は切り離さず出願してください。入学検定料領収書 (E 票) は本人で保管してください。
写真票 (B 票) には、3 ヶ月以内に撮影した上半身・正面・無帽の写真 (縦 4 cm × 横 3 cm) 2 枚を貼付してください。
4. 志望理由書は必ず記入してください。
5. 住所シールは (2 枚綴り) には志願者本人の入学試験結果通知を郵送する住所・氏名をすべてに記入してください。
6. 記入に際しては、黒インクまたは黒ボールペンを用い楷書で正確に記入してください。

入学検定料

35,000円

入学検定料の納入については次の 2 つの方法があります。

【コンビニエンスストア・クレジットカードからの納入】 巻末 P5 をご確認ください。

【金融機関からの納入】

1. 「入学検定料電信振込依頼票 (D 票)」に必要事項を記入し、最寄りの金融機関窓口 (ゆうちょ銀行は除く) から振り込んでください (窓口への現金持参、現金書留、ATM (現金自動預金支払機) ネットバンキング等は不可)。
2. 振り込みの際、必ず「電信扱い」としてください。
3. 入学検定料電信振込依頼票 (D 票) 内の整理番号

2	9	
---	---	--

 の末尾には
管理栄養士専攻：1 家政学専攻：2 こどもの生活専攻：3 を記入してください。
4. 入学検定料領収書 (E 票) の領収書は本人が大切に保管してください。

試験当日の注意事項

1. 受験票 (A 票) で指定した試験会場以外での受験はできません。
2. 受験票 (A 票) は試験当日必ず持参してください。
3. 試験室の入室開始は午前 9 時からです。試験開始は 10 時となりますので 10 分前には着席を完了してください。
4. 試験開始 20 分を経過した後、試験室への入室は認めません。係員の指示に従ってください。

5. 受験票（A票）のほかに試験時間中、机の上に置けるものは「黒鉛筆（HB以上）もしくはシャープペンシル（HB以上）」「消しゴム」「鉛筆削り（電動式を除く）」「時計（スマートフォン・携帯電話・腕時計型端末・PHS等は不可）」「眼鏡」です。
6. 「ハンカチ」「ティッシュペーパー」「座布団」「防寒具（ひざ掛け等）」「目薬」の使用を希望する場合には、試験前に係員に申し出て、許可を得てから使用してください。
7. スマートフォン・携帯電話・腕時計型端末・PHS等を所有している受験生は試験室に入る前にアラームの設定を解除（アラームは設定を解除しないと、電源を切っても鳴り出すことがあるので注意してください）し、必ず電源を切ってかばん等に入れてください。また、マナーモードに設定している場合でも、必ず電源を切ってください。
8. 試験中にかばん等の中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音が発生した場合は、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験実施本部で当該試験終了まで保管します。
9. 試験中の「マスクの着用」を認めます。本人確認のため写真照合を行う際は、一時的にマスクをはずしてください。
10. 受験に関して不正行為があった場合は、その時点以降の受験はできません。また、受験した部分についても無効になります。
11. 試験時間終了前の退室は原則として認めません。
12. 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。
13. 昼食を必要とする受験生は、各自で用意してください。（学生食堂は営業していません）

合格発表

1. 受験者全員に対して合格発表日に速達で試験結果を郵送します。
2. 合格者に対して、入学手続書類を結果通知に同封します。
3. 電話による合否の問い合わせには一切応じません。

○入学試験結果通知について

電算処理の都合上、「入学試験結果通知」に記載される一部の漢字については他のものに置き換える場合がありますので、ご了承ください。以下の例のように、矢印で指定した漢字に置き換えて電算処理します。
 崎→崎、吉→吉、高→高、桑→桑、徳→徳、祐→祐、角→角、土→土、緒→緒、柳→柳、頼→頼、橋→橋、鮎→鮎、濱→浜、瑤→瑤、葛→葛

入学手続き

1. 合格者は送付された入学手続き関係書類をよく読み、入学手続きを完了してください。
2. 期限までに入学手続きを完了していない場合は、「入学辞退」と判断し入学が許可されません。
3. 入学手続完了者のうち、2021年3月31日（水）正午までに「入学辞退」を申し出た場合は、「入学金」以外の納入費用を返還します。

【納入期限】

入学に必要な費用の納入期限は次の通りです。納入には所定の用紙を用い、必ず「電信扱い」で振り込んでください。

入学手続	専攻	納入項目	納入金額
第1回	全専攻	入学金	280,000円
第2回	管理栄養士専攻	授業料、教育充実費、実験実習費	615,930円
	家政学専攻		590,930円
	こどもの生活専攻	授業料、教育充実費、実習費	600,930円

学 費 等

専 攻 内 訳		管理栄養士専攻		家政学専攻		こどもの生活専攻	
		前期納付 金 額	後期納付 金 額	前期納付 金 額	後期納付 金 額	前期納付 金 額	後期納付 金 額
学 納 金	入 学 金	280,000 円	—	280,000 円	—	280,000 円	—
	授 業 料	355,000 円	355,000 円	355,000 円	355,000 円	355,000 円	355,000 円
	教育充実費	195,000 円	195,000 円	195,000 円	195,000 円	195,000 円	195,000 円
	実験実習費	55,000 円	—	30,000 円	—	—	—
	実 習 費	—	—	—	—	40,000 円	—
委 託 徴 収 費	学 生 会 費	8,500 円	—	8,500 円	—	8,500 円	—
	学生教育研究 災害保険	1,750 円	—	1,750 円	—	1,750 円	—
	学生教育研究 賠償責任保険	680 円	—	680 円	—	680 円	—
合 計		895,930 円	550,000 円	870,930 円	550,000 円	880,930 円	550,000 円

- (1) 前期納付金は、入学手続き時に納入してください。
- (2) 後期納付金の納入期限は2021年10月上旬です。
上記のほかに、教科書代、資格取得を希望する者は、別途課程履修費が必要です（入学後）。
- (3) 諸会費（教育後援会費、後援会会費）については、入学後にご案内させていただきます。

上記以外に必要な費用等（入学後）	
管 理 栄 養 士 専 攻	管理栄養士国家試験受験資格、栄養教諭一種免許状
家 政 学 専 攻	中学・高等学校家庭科教諭一種免許状（家庭）、博物館学芸員、社会教育主事任用資格
こ だ も の 生 活 専 攻	社会教育主事任用資格

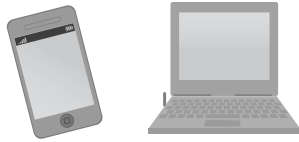
コンビニエンスストア・クレジットカードでの入学検定料払込方法

入学検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」、またはクレジットカードで24時間いつでも払い込みが可能です。

1 Webで事前申込み

※一部の機種は利用できない場合があります。

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/>

本学HPからもアクセスできます！

※入力内容を間違えた場合は、始めからもう一度やり直し、新たな番号を取得してお支払いください。申込み完了後に通知する支払期限内に代金を支払わなければ、入力情報は自動的にキャンセルされます。



クレジットカードでお支払いの場合

画面の指示に従って必要事項を入力し、そのままカード決済手続きを行ってください。
※カード決済完了後の修正・取消はできませんので、申込を確定する前に内容をよくご確認ください。

2 お支払い

※入学検定料はATMでは振込できません。必ずレジでお支払いください。
※店頭端末の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

ネット受付店頭支払い

7 ELEVEN
【払込票番号 (13ケタ)】

●レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。
マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。

LAWSON
【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Loppiへ

各種サービスメニュー
各種代金・インターネット受付(紫のボタン)
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】を入力

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

FamilyMart
【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Famiポートへ

代金支払い
各種代金お支払い
番号入力画面に進む

【お客様番号】【確認番号】を入力

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

オンライン決済

VISA mastercard JCB

※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

Web申込みの際に、支払方法で「クレジットカード」を選択

カード情報を入力

全入力内容が表示されますので、正しければ「確定」を押す。

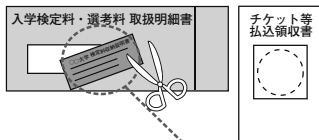
お支払い完了です。「収納証明書」は発行されません。入学志願書(裏面)のクレジット決済の欄に受付完了時に通知された受付番号(12桁)を記入してください。

3 出願

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願書(裏面)の所定欄に貼る。

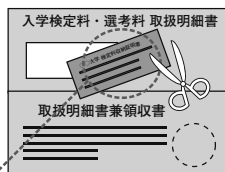
●セブン-イレブン

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「チケット等払込領収書」は保管。

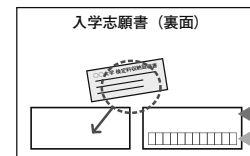


●ローソン ●ミニストップ ●ファミリーマート

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「取扱明細書兼領収書」は保管。



切り取った「収納証明書」を入学志願書の所定の欄に貼る。



クレジットカードでお支払いの場合、「収納証明書」は発行されません。入学志願書(裏面)のクレジット決済の欄に受付完了時に通知された受付番号(12桁)を記入してください。

入学志願書に貼付する「収納証明書」部分

※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

■注意事項

- 出願期間を学生募集要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- コンビニエンスストアでお支払いの場合、出願締切日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。クレジットカードでお支払いの場合、Webサイトでのお申込みと同時にお支払いが完了します。23:00までにお手続きください。
- 一度お支払いされた入学検定料は、返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 入学検定料の他に、事務手数料が別途かかります。詳しくは、Webサイトをご確認ください。
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

「入学検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくは <https://e-shiharai.net/> でご確認ください。

ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー

家政学部 家政学科 管理栄養士専攻

1. ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

管理栄養士専攻の教育目標は、大学の教育目標・教育方針の下に、管理栄養士の資格を生かしてチーム医療、健康増進・疾病予防、食育・栄養指導、健康をテーマにした食品の研究・開発等で活躍することによって、人々の日常生活を健康の面から支援することのできる人材を育成することである。

正規のカリキュラムの所定の単位を修得した者には卒業を認定し、学士(家政学)の学位を授与します。

学位を授与するにあたって重視する項目は以下のとおりです。

- (1) 建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得している。
- (2) 管理栄養士に必要な以下の専門的知識・技能を身につけている。
 - ① 管理栄養士に必要な専門能力の基本となる知識・技能を身につけている(社会・環境と健康、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち、食べ物と健康にかかわる知識・技能を修得している)。
 - ② 管理栄養士に必要とされる専門分野の知識・技能を身につけている(基礎及び応用栄養、栄養教育、臨床栄養、公衆栄養、給食経営管理にかかわる知識・技能を修得している)。
 - ③ 管理栄養士に必要な健康の維持・増進、疾病の予防・治療において栄養管理及び栄養指導を行うことができる知識・技能を修得している。
 - ④ 管理栄養士に必要な食に関する問題を解決する課題解決案を提案できる思考力、判断力、表現力を身につけている。
 - ⑤ 管理栄養士に必要な専門的行動能力(コンピテンシー)を身につけ、人々の豊かな食生活と健康を創造することができる。
 - ⑥ 管理栄養士に必要な職務に対する責任感及びチーム医療、患者とのコミュニケーションを円滑に進める能力を身につけている。管理栄養士の態度や考え方を理解している。
- (3) 自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢を持っている。

2. アドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針)

管理栄養士専攻では、栄養学に強い関心を抱き、「チーム医療」「健康増進・疾病予防」「食育・栄養指導」「健康をテーマにした食品の研究・開発」などの分野で管理栄養士として社会に貢献したいという意欲を持った人を求めています。

そこで、次に掲げるような人を積極的に受け入れます。

(A) 学力の3要素について

(A-1) 基礎的・基本的な知識・技能について
化学、生物、国語、数学、英語に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身につけている。

(A-2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について
① 食を取り巻く課題を積極的に発見し、自分の考えをまとめることができる。
② 自分の考えを他者にわかりやすく説明できる能力を持っている。

(A-3) 主体的に学習に取り組む意欲・関心・態度について
① 管理栄養士として活躍し、将来的にはその指導的な役割を担う意欲を持っている。
② 疾病と栄養との因果関係に関心をもち、その解明に努力をすることができる。

③ 食を取り巻く問題を積極的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(B) 行動特性について
① 何事に対しても積極的に取り組み、継続して努力することができる。
② 様々な課題の解決に向けて深く考察し、複数のアイデアを提案できる。
③ 内容を整理しながら聞き、わからないことは進んで質問をすることができる。
④ 社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

(C) 評価について
① 知識・技能については、記述式の筆記試験および調査書で確認します。
② 思考力・判断力・表現力については、記述式の筆記試験および面接で確認します。
③ 主体的に学習に取り組む態度については、面接および調査書で確認します。
④ 行動特性については、面接および調査書で確認します。
⑤ ①～④までの各評価の比重は学生募集要項に明記します。

⑥ 給食運営や関連の資源を総合的に判断し、栄養面・安全面・経済面全般についてマネジメントを行う能力を修得するために、給食経営管理論に関する必修科目とともに実習科目を置く。

⑦ 各専門分野に関わる知識についてさらに理解を深めるとともに、管理栄養士に必要とされる知識・技能を統合して実践活動の場での課題解決能力を修得するために、「臨床総合演習」・「臨床実習」・「卒業研究」を置く。

(A-4) 初年次教育プログラムについて
初年次教育として「管理栄養士への道」「未来へつなぐアウトリーチスタートアップ」及び「未来へつなぐアウトリーチ」を配置しています。
「管理栄養士への道」では、管理栄養士の職業に対する理解を深め、管理栄養士の行動特性を理解し、自己のビジョンを達成する生涯学習計画を立てる授業を行います。
① 管理栄養士の職域を知り、役割を考える。
② 卒業時の到達目標としての職業意識、特に重要な専門的行動能力(コンピテンシー)を知る。
③ 自己ビジョンに必要な知識・スキルを考える。
「未来へつなぐアウトリーチ I」では、PDCA(P:計画、D:実施、C:チェック、A:修正)サイクルを活用して、家政学の核となる衣・食・住・消費活動などの生活環境の視点から地域の課題を発見し、その課題解決を目指します。

(A-5) キャリア教育プログラムについて
「課題解決型行動特性」及び「課題解決型学力」の修得、自己成長のためのキャリアビジョンの方向性や目標の明確化のために、「基礎キャリア教育」を配置しています。
各分野で活躍する専門家からの講話を聴く中で、自分の能力を社会貢献につなげていくための能力の適格性、開発方法、心構えなどを学び、望ましい管理栄養士の専門的行動能力(コンピテンシー)を学修し、就職につながる意識を高めます。
さらに、医療・福祉・地域・食品の4領域の分野の必修科目とともに実習科目を設け、これまでに学修した専門的知識・技能を活用して、実践活動に結びつけます。

(A-6) リメディアル教育プログラムについて
「基礎化学」・「応用化学」・「基礎生物学」・「応用生物学」・「国語力」の必修科目を基礎科目の専攻基礎分野に設定しています。これらの科目は、専門科目を学ぶための導入教育として配置しています。高等学校の履修者及び未履修者にとってリメディアル教育としても機能するように工夫しています。

(A-7) 教職課程教育プログラムについて
教育の現場で必要とする知識・技能を修得して、栄養教諭免許が取得できるカリキュラム(15科目で構成)を編成しています。
授業方法は、以下の3点に焦点を当てて、講義に加え事例研究・模擬授業・グループ討議・ロールプレイング等実践的な学修方法を取り入れます。
① 学校における食育のあり方や栄養教諭の職務内容の理解等栄養教諭に必要な食育基本法や学校給食法等を学修します。
② 食育の模擬授業や肥満・やせ、食物アレルギー等栄養教諭に必要な個別指導の実践能力を育成します。
③ 小学校(中学校)の役割・組織及び栄養教諭の職務内容に関する理解を通して、栄養教諭としての使命感と責任感を育成します。

(B) カリキュラムの実施について
カリキュラムの実施については、下記の通りです。
① 各専門分野の科目においては、管理栄養士に必要な知識・技能を理解するために、講義とそれに関わる実験・実習を行う。
② 課題発見・課題解決やチームで働く力、pisa型学力を育成するために、PBLや社会人基礎力を授業方法に取り入れる。

④ 「外国語分野」では、異文化を理解する上で必要な基礎的な知識・技能を学修する。
④ 「専攻基礎」では、栄養学を学修するために必要な基礎的な専門知識を修得する。
(A-3) 専門教育プログラムについて
管理栄養士専攻の専門教育は、専門分野の基礎となるものを専門基礎分野、応用となるものを専門分野に配置し、段階的に理解できるように授業を展開します。
(専門基礎分野)
① 社会的課題としての保健・医療・福祉等についての基礎知識並びに環境因子、社会的諸制度としての衛生行政・衛生法規・地域保健対策等について理解するために、公衆衛生学に関する必修科目を置く。
② 人体の構造や機能を体系的に理解した上で、主要疾患の成因・病態・診断・治療等について理解を深めるために、解剖・生理学・生化学・臨床医学に関する必修科目とともに実験・実習科目を置く。
③ 食品の化学成分の構造・性質、物性等の基礎知識及び調理・加工による変化、栄養性・嗜好性の高い食物を調製する技術、食品表示・安全性について学修するために、食品学・調理学・食品衛生学に関する必修科目とともに実験・実習科目を置く。
(専門分野)
① 栄養の基本的概念及びその意義並びにエネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義を理解するために、基礎栄養学に関する必修科目とともに実験科目を置く。
② 各ライフステージにおける栄養状態や心身機能の特徴に基づいた栄養管理の基礎を理解するために応用栄養学に関する必修科目とともに実習科目を置く。
③ 健康・栄養状態・食行動・食環境に関する情報を収集・分析するとともに、それらの総合的評価・判定に基づく栄養教育プログラムを作成する能力を修得するために、栄養教育論に関する必修科目とともに実習科目を置く。
④ 傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて栄養管理計画の作成・実施・評価に関する総合的マネジメントの考え方を理解するために、臨床栄養学に関する必修科目とともに実習科目を置く。
⑤ 地域や職域の健康・栄養問題とそれを取り巻く諸要因を分析するとともに様々な健康・栄養状態の者に対する適切な栄養関連サービスのあり方について理解を深めるために、公衆栄養学に関する必修科目とともに実習科目を置く。

(A-1) カリキュラム編成の基本方針について
管理栄養士専攻の教育課程は、基礎科目と専門科目から構成されます。
授業形態は、講義・演習・実習の3タイプ用意しています。各科目の関連性を明確化するためにカリキュラムマップを作成しています。
基礎科目は、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等を学修するために、家政学部家政学科共通科目として編成しています。
基礎科目の卒業要件は18単位以上取得することです。

専門科目は、管理栄養士の資格を生かした「チーム医療」「健康増進・疾病予防」「食育・栄養指導」「健康をテーマにした食品の研究・開発」等、管理栄養士の資格を生かした分野で活躍する人材の育成を目的としたカリキュラムを編成しています。また、「栄養教諭」の資格も取得可能です。
専門科目の卒業要件は94単位以上取得することです。なお、厚生労働省の定める管理栄養士養成施設であるので、法令に適合したカリキュラムとなっています。

(A-2) 教養教育プログラムについて
教養教育とは、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等の基礎的・体系的な一般知識・技能のことです。
これらの科目は、基礎科目と位置づけて、「教養分野」「保健体育分野」「外国語分野」「専攻基礎」の4分野で編成しています。
① 「教養分野」では自然科学・人文科学・社会科学に関する基礎的な知識・技能を学修する。
② 「保健体育分野」では、講義と実技を通して身体と健康に関する基礎的な知識・技能を学修する。

- ③シラバス上に予習・復習内容及び必要な学修時間(目安)を記載し、授業の内・外での能動的な学修を促す。また、資格取得に向けての課題の提出、資格対策授業等の学修支援を行う。
- ④クラス指導教授は定期的に行うと面談を行い、履修状況、進路希望等を確認しつつ、適切な履修指導を行う。
- ⑤学修成果の評価は、学期末テストにとどまることなく、レポートや小テストなどで定期的に理解度・習熟度の確認を行う。
- ⑥ルーブリック評価等を用いて、評価の可視化を行います。ルーブリックはディプロマ・ポリシーの能力形成を評価できる評価内容とする。

(C) 資格対応について

取得可能な資格は以下のとおりです。

- ① 管理栄養士国家試験受験資格
- ② 栄養士免許
- ③ 栄養教諭一種免許状
- ④ 食品衛生監視員任用資格
- ⑤ 食品衛生管理者任用資格

家政学部 家政学科 家政学専攻

1. ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

家政学専攻の教育目標は、大学の教育目標・教育方針の下に、これからの社会の新しいライフスタイルのデザインを提案することによって、人々の日常生活を衣・食・住の面から支援することのできる人材を育成することである。

正規のカリキュラムの所定の単位を修得した者には卒業を認定し、学士(家政学)の学位を授与します。

学位を授与するにあたって重視する項目は以下のとおりです。

- (1) 建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得している。
- (2) ライフスタイルのデザインを提案するために必要な以下の専門的知識・技能を身につけている。
 - ①衣の領域では、服飾文化・造形・素材などに関する知識・技能を身につけ、衣服と生活との関係を理解し、地域の発展に貢献できる提案力と表現力を修得している。
 - ②食の領域では、氾濫する食の情報を精査し、正しい情報を読み取ることができる知識・技能を身につけている。また、愛知の豊かな食材と食文化を知り、地域全体の健康と食育に貢献できる提案力と表現力を修得している。
 - ③住の領域では、多様な生活スタイル、生活のリズムを把握し、快適な空間、やすらぎの生活を演出・計画できる提案力と表現力を修得している。
- (3) 自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢を持っている。

2. アドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針)

家政学専攻では、愛知学泉大学の掲げる建学の精神を尊重し、衣・食・住を中心とした暮らしに関わる様々な事象に強い関心を抱き、より良い生活のあり方を提案しうる能力を持った生活者及び衣・食・住の領域のエキスパートとして社会に貢献したいという意欲を持った人を探求しています。

そこで、次に掲げるような人を積極的に受け入れます。

(A) 学力の3要素について

(A-1) 基礎的・基本的な知識・技能について

国語、地歴・公民、生物・化学、数学、英語、家庭科に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身につけている。

(A-2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について

- ① 日常生活の中から課題を発見し、それらの課題に対して自分の考えを持つことができる。
- ② 他者の考えを理解し、自分の考えと合わせて課題を分析することができる。
- ③ 適切な表現方法を選択し、自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

(A-3) 主体的に学習に取り組む意欲・関心・態度について

- ①衣・食・住をはじめとして家族・家庭、地域、環境など暮らしに関わる様々な事象に強い関心を持っている。
- ②大学での学びの過程で、社会人基礎力を伸ばし、pisa型学力を身につけたいと考えている。
- ③建学の精神を実践し、自己の特性を伸ばしつつ、社会に貢献したいと考えている。

(B) 行動特性について

- ①何事に対しても積極的に取り組み、継続して努力することができる。
- ②様々な課題の解決に向けて深く考察し、複数のアイデアを提案できる。
- ③内容を整理しながら聞き、わからないことは進んで質問をすることができる。
- ④社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

(C) 評価について

- ①知識・技能については、記述式の筆記試験および調査書で確認します。
- ②思考力・判断力・表現力等については、記述式の筆記試験および面接で確認します。
- ③主体的に学習に取り組む態度については、面接および調査書で確認します。
- ④行動特性については、面接および調査書で確認します。
- ⑤①～④までの各評価の比重は学生募集要項に明記します。

3. カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

(A) カリキュラムの編成について

(A-1) カリキュラム編成の基本方針について

家政学専攻のカリキュラムは、基礎科目と専門科目から構成されます。すべての科目において、グループワークの機会を設定しています。そして、地域と連携したプロジェクトを各年次に配置することによって、社会人基礎力・pisa型学力を養成していきます。

授業形態は、講義・演習・実習の3タイプ用意しています。各科目の関連性を明確化するためにカリキュラムマップを作成しています。

基礎科目は、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等を学修するために、家政学部家政学科共通科目として編成しています。基礎科目の卒業要件は30単位以上取得することです。

専門科目は、これからの時代の新しいライフスタイルを創造しうる能力を持った生活者および衣・食・住の領域のエキスパートを育成するための科目として編成します。また、「中学校、高等学校の教諭(家庭)」の資格も取得可能

です。専門科目の卒業要件は90単位以上を取得することです。

(A-2) 教養教育プログラムについて

教養教育とは、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等の基礎的・体系的な一般的知識・技能のことです。

これらの科目は基礎科目と位置づけ、「教養分野」「保健体育分野」「外国語分野」の3分野で編成しています。

- ①「教養分野」では、自然科学・人文科学・社会科学に関する基礎的な知識・技能を学修する。
- ②「保健体育分野」では、講義と実技を通して身体と健康に関する基礎的な知識・技能を学修する。
- ③「外国語分野」では、異文化を理解する上で必要な基礎的な知識・技能を学修する。

(A-3) 専門教育プログラムについて

専門教育プログラムは、「家政学/生活の基礎を学ぶ科目群」「生活提案の技法を学ぶ科目群」「生活提案実践の科目群」の3つの専門科目群で編成されています。

これら3つの専門科目群により、生活に関する専門的知識・技能を獲得し、それを活用しながら、自らを含む地域社会の課題を解決する方策を実践的に学修します。

- ①「家政学/生活の基礎を学ぶ科目群」について
この科目群では、生活に関する基礎的知識・技能を獲得するために、衣・食・住の各領域の概論(衣生活論・食生活論・住生活論)と基礎的な実習(被服実習Ⅰ・基礎調理実習・インテリアデザイン)及び文化論(服飾文化論・食文化論・住文化論)を必修科目として置く。
さらに、生活に関する専門的知識・技能を獲得するために、衣・食・住の各領域の講義・実験・実習を置く。
- ②「生活提案の技法を学ぶ科目群」について

この科目群では、「家政学/生活の基礎を学ぶ科目群」で学修した基礎的知識・技能を活用するために必要なりサーチの手法、色や形をコントロールする方法、効果的なプレゼンテーションの技法などを獲得するための科目を置く。

③「生活提案実践の科目群」について

この科目群は、キャリア形成関連科目と生活スタジオリレーティブから構成する。

キャリア形成関連科目においては、大学生活4年間を含めた自分自身の生活をデザインし、他者との関係を構築していくための科目を置く。生活スタジオリレーティブにおいては、新しいライフスタイルをデザインすることができる生活者となるために、地域社会の課題解決に向けた学生発案型のPBLを行う。

(A-4) 初年次教育プログラムについて

初年次教育として「キャリア形成Ⅰ、Ⅱ」「未来へつなぐアウトリーチスタートアップ」及び「未来へつなぐアウトリーチ」を配置しています。

「キャリア形成Ⅰ、Ⅱ」では、「人間関係形成能力」と「リテラシー能力」の向上に焦点を当て、教育目標の基盤を養成しています。

「未来へつなぐアウトリーチⅠ」では、PDCA(P:計画、D:実施、C:チェック、A:修正)サイクルを活用して、家政学の核となる衣・食・住・消費活動などの生活環境の視点から地域の課題を発見し、その課題解決を目指します。これらの科目では、他者との関わりを重視しながら、以下の能力を養成していきます。

- ①生活における他者との関わり的重要性を知る。
- ②「見た」「聞いた」「読んだ」内容を論理的にまとめて書く力を養成する。
- ③地域社会の課題を発見し、他者と協調し、その課題解決に取り組むことができる人間となるための基礎的な力を養成する。

(A-5) キャリア教育プログラムについて

卒業後の進路を保障するために、以下の3点に焦点を当てたインターンシップの実施と就職支援プログラムとしての「キャリア形成Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ」を配置しています。

- ①インターンシップを通して、仕事の現場を体験的に確認し、組織の一員としての使命感、責任感を養成します。
- ②適性検査、自己分析を行い、自分に合った進路の選択を考える能力を養成します。
- ③様々な業種・職種で活躍する社会人及び先輩の講話を聴き、自分の能力を社会貢献につなげていくための能力の適格性、開発方法、心構えなどを養成します。

なお、中学校、高等学校教諭を目指す学生に対しては教職課程委員会と連携して「教員採用試験対策講座」を開講しています。

(A-6) リメディアル教育プログラムについて

初年次に配置している基礎科目の「生物」「化学」については、高校までの学習内容を再確認する内容を一部含んでいます。

公開講座「日本語を磨く、自分を磨く」において、日本語表現の基礎を学び直します。

(A-7) 教職課程教育プログラムについて

教育の現場で必要とする知識・技能を修得して、中学校、高等学校の教諭(家庭)免許が取得できるカリキュラムを編成しています。

授業方法は、以下の3点に焦点を当て、講義に加え事例研究・模擬授業・集団討議を行います。

- ①教育課程、指導法について学びながら、学校における教育の意義や中学校、高等学校教諭の職務内容を理解する。
- ②模擬授業を通して、教育指導の実践能力を養う。
- ③教育実習を通して、指導の重要性を体験的に確認し、中学校、高等学校の教諭としての使命感、責任感を養う。

(B) カリキュラムの実施について

チームティーチング形式の授業を初年次から配置しています。複数の教員が関わることにより、家政学専攻の特徴的な学修への動機づけ・学修方法の理解、社会人基礎力の必要性を理解してもらいます。また、体験型学修の核となる学生間の人間関係の形成も視野に入れて授業を行います。

①体験型学修としてプロブレム型PBLとプロジェクト型PBLの2種類のスタジオリレーティブを用います。このスタジオリレーティブは、学生が「無限の可能性」に挑戦する絶好の機会となる。

②スタジオリレーティブでは、各年度ごとに設定するテーマの下で、教員と学生が小グループを組織し、家政学の専門的知識・技能を活用して、創造的作業を

通して考えたことを目に見える形にして提案する能力を育成する。
この学修の過程では、学生個々の潜在能力を最大限引き出していくために
社会人基礎力と pisa 型学力の発揮が必須となる。

- ③ スタジオ学修で見出した自分の能力を進路実現に結びつけるために、「キャリア形成」等の科目を配置する。これらのキャリア教育を通して、職業に対する意識と職場への適応能力、社会人としての自覚を深める。
- ④ クラス指導教授は定期的に学生と面談を行い、履修状況、進路希望等を確認しつつ、適切な履修指導を行う。
- ⑤ 学修成果の評価は、学期末テストにとどまることなく、レポートや小テストなどで定期的に理解度・習熟度の確認を行う。
- ⑥ ルーブリック評価等を用いて、評価の可視化を行う。ルーブリックはディプロマ・ポリシーの能力形成を評価できる評価内容とする。

(C) 資格対応について

- 取得可能な資格は以下のとおりです。
- | | |
|------------------|-------------------|
| ① 中学校教諭一種免許状（家庭） | ② 高等学校教諭一種免許状（家庭） |
| ③ 博物館学芸員 | ④ フードスペシャリスト |
| ⑤ 社会教育主事任用資格 | |

家政学部 家政学科 こどもの生活専

1. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

こどもの生活専攻の教育目標は、大学の教育目標・教育方針の下に、小学校教諭・幼稚園教諭・保育士の資格を生かして子どもたちの学力および社会性・社会力の基礎・基本を育てることによって、人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成することである。

正規のカリキュラムの所定の単位を修得した者には卒業を認定し、学士（家政学）の学位を授与します。

学位を授与するにあたって重視する項目は以下のとおりです。

- (1) 建学の精神、社会人基礎力、pisa 型学力を修得している。
- (2) 小学校教諭・幼稚園教諭・保育士に必要な以下の専門的知識・技能を身につけている。
 - ① 小学校教諭・幼稚園教諭・保育士に必要な専門的知識・技能及び実践的指導力と創造性を身につけ、子どもの豊かな心と想像力を養うことができる。
 - ② 小学校教諭としての専門的知識・技能を持ち合わせ、それらを小学校で主体的に活用することで、子どもの成長を支えることができる。
 - ③ 幼稚園教諭としての専門的知識・技能を合わせ持ち、それらを幼稚園で主体的に活用することで、子どもの成長を支えることができる。
 - ④ 保育士としての専門的知識・技能を合わせ持ち、それらを保育所で主体的に活用することで、子どもの成長を支えることができる。
- (3) 自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢を持っている。

2. アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

こどもの生活専攻では、子どもの教育・保育に関して強い関心を抱き、この分野の専門家として社会に貢献したいという意欲を持った人を求めています。そこで、次に掲げるような人を積極的に受け入れます。

(A) 学力の3要素について

- (A-1) 基礎的・基本的な知識・技能について
国語、地歴・公民、数学、英語、生物、化学に関する高等学校卒業レベルの基礎学力を身につけている。
- (A-2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等について
① 子どもを取り巻く環境に関する課題を発見し、自分の考えをまとめることができる。
② 適切な表現方法で、自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。
③ 体育や芸術の分野において自分らしさを表現することができる。
- (A-3) 主体的に学習に取り組む意欲・関心・態度について
① 将来の目標を明確に持っている。
② 常に自分がすべきことを考えて取り組むことができる。
③ 指示されたこと以上の成果を出そうとする意欲がある。

(B) 行動特性について

- ① 何事に対しても積極的に取り組む、継続して努力することができる。
- ② 様々な課題の解決に向けて深く考察し、複数のアイデアを提案できる。
- ③ 内容を整理しながら聞き、わからないことは進んで質問をすることができる。
- ④ 社会のルールに則り、自らの言動を適切に律することができる。

(C) 評価について

- ① 知識・技能は、記述式の筆記試験および調査書で確認します。
- ② 思考力・判断力・表現力等は、記述式の筆記試験および面接で確認します。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度は、面接および調査書で確認します。
- ④ 行動特性は、面接および調査書で確認します。
- ⑤ ①～④までの各評価の比重は学生募集要項に明記します。

3. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

(A) カリキュラムの編成について

(A-1) カリキュラム編成の基本方針について

小学校教諭一種免許、幼稚園教諭一種免許、保育士資格が取得できるように法令等に適合したカリキュラムを編成しています。なお、社会教育主事任用資格も取得可能です。

カリキュラムは基礎科目と専門科目から編成しています。授業形態は、講義・演習・実習の3タイプ用意しています。各科目の関連性を明確化するためにカリキュラムマップを作成しています。

基礎科目は、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等を学修するために、家政学部家政学科共通科目として編成しています。

専門科目は、教育の意義や理論とともに、各教科教育によって、保育と教育の専門性を高める科目編成になっています。

基礎科目の卒業要件は21単位以上取得することです。

専門科目は、保育・教育職において必要な専門的な能力を獲得することを目的としたカリキュラム編成をしています。

専門科目の卒業要件は93単位以上を取得することです。

(A-2) 教養教育プログラムについて

教養教育とは、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等の基礎的・体系的な一般的知識・技能のことです。

これらの科目は、基礎科目と位置づけて、「教養分野」「保健体育分野」「外国語分野」「専攻基礎」の4分野で編成しています。

- ①「教養分野」では自然科学・人文科学・社会科学に関する基礎的な知識・技能を学修する。
- ②「保健体育分野」では、講義と実技を通して身体と健康についての基礎的知識・技能を学修する。
- ③「外国語分野」では、異文化を理解する上で必要な基礎的な知識・技能を学修する。
- ④「専攻基礎」では、子どもと関わるための基礎的な専門知識を学修する。

(A-3) 専門教育プログラムについて

専門教育は、こどもの生活専攻の専門科目によって編成されています。

専攻の強化科目である「専門演習」を軸に、資格取得に必要な専門的知識・技能の修得、模擬授業等の実践的な体験等を小学校教諭・幼稚園教諭・保育士にに応じた以下の専門教育プログラムを用意しています。

- ① 保育士としての心構えと専門的知識・技能を身につけるために、保育原理や保育5領域に関する必修科目を置く。
- ② 幼稚園教諭としての心構えと専門的知識・技能を身につけるために、保育系の科目、幼児理解や教育経営論等専門科目に加えて教育実習を必修科目として置く。
- ③ 小学校教諭としての心構えと専門的知識・技能を身につけるために、教科教育法や教科研究に加えて教育実習を必修科目として置く。

(A-4) 初年次教育プログラムについて

初年次教育として、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」と「未来へつなくアウトリーチスタートアップ」及び「未来へつなくアウトリーチ」を配置しています。

「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」では、保育・教育職に対する理解を深めるとともに、学修の前提となる基礎知識、コミュニケーションを円滑にするための集団活動、そして子どもと関わるための心構えを学びます。

- ① 建学の精神を踏まえた「学びを理解する」ための学修を行う。
- ② 子どもと関わることを通して言葉や自然科学について見つめ直すための学修を行う。
- ③ コミュニケーションの重要性を理解し、主体的に発言する態度を身につけるための学修を行う。
- ④ 他者と積極的に関わり、グループやクラスで活動をするための学修を行う。
- ⑤ 各系列の幼稚園の見学等を通し、子どもと関わるための心構えの学修を行う。「未来へつなくアウトリーチⅠ」では、PDCA(P:計画、D:実施、C:チェック、A:修正)サイクルを活用して、家政学の核となる衣・食・住・消費活動などの生活環境の視点から地域の課題を発見し、その課題解決を目指します。

(A-5) キャリア教育プログラムについて

卒業後に小学校教諭、幼稚園教諭、保育士として自立して生きていくための能力を育成し、人生に必要な様々な力を修得するために、以下の2点に焦点を当てたキャリア教育を実施しています。

- ① 各種の実習（保育実習・教育実習・施設実習・介護体験実習）とその事前事後指導を通して、保育・教育職に就くための能力と組織の中で働く責任感や使命感を育成します。
- ② 保育・教育職の現場で働く社会人や諸先輩の話を聴き、自分がどのような適性を持ち合わせているかを考え、社会に対してどのように貢献していくかを考える力を育成します。

(A-6) リメディアル教育プログラムについて

基礎演習を中心に、国語・数学・自然科学に関する高等学校卒業レベルの知識・技能の復習・確認を行うプログラムを用意しています。

- ① 1年生の授業では、以下の高等学校での既習事項について確認テストを行います。
- ① 敬語や文法、漢字等に関する基礎学力の確認と学び直し。
- ② 数学、自然科学に関する基礎学力の確認と学び直し。
- ③ 政治、経済、社会等の問題についての認識と考察（新聞の利用）。

(A-7) 教職課程教育プログラムについて

小学校教諭免許、幼稚園教諭免許が取得できる教科教育カリキュラムを編成し、教育の現場で活躍するための専門的知識・技能を学修します。

- ① 授業方法は、講義に加え事例研究や模擬授業、集団討議などを行います。
- ② 教育法規を通して、学校教育の意義・小学校教諭、幼稚園教諭の職務内容を理解する。
- ③ 小学校、幼稚園の組織体系・職務内容を通して、教諭としての使命感・責任感を養う。
- ④ 小学校の模擬授業を通して、教育指導の実践能力を養う。

(B) カリキュラムの実施について

小学校教諭免許、幼稚園教諭免許、保育士資格が取得可能なカリキュラムを編成し、教育の現場で活躍するための専門的知識・技能を学修します。なお、社会教育主事任用資格も取得可能です。

カリキュラムは、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等の基礎科目と保育職・教育職に関する専門科目から編成されています。

すべての科目において、下記のように学生と教員による双方向的で実践的な学修を行っています。また、保育・教育の現場と触れ合い、体験的に学びの内容を確認するためのいくつかの活動も行います。

- ① 学生同士および学生と教員のコミュニケーションを重視する授業（対話型授業）を行う。
- ② グループワークを取り入れ、発表を重視する授業（協力・協働型授業）を行う。
- ③ 知的な好奇心を刺激し、自ら学ぶ意志を引き出すような授業（啓発型授業）を行う。
- ④ クラス指導教授は定期的に学生と面談を行い、履修状況、進路希望等を確認しつつ、適切な履修指導を行う。
- ⑤ 学修成果は、学期末テストだけでなく、レポートや小テスト、作品提出、学修発表などによって定期的に理解度・習熟度を確認し評価を行う。
- ⑥ ルーブリック評価等を用いて、評価の可視化を行う。ルーブリックはディプロマ・ポリシーの能力形成を評価できる評価内容とする。

(C) 資格対応について

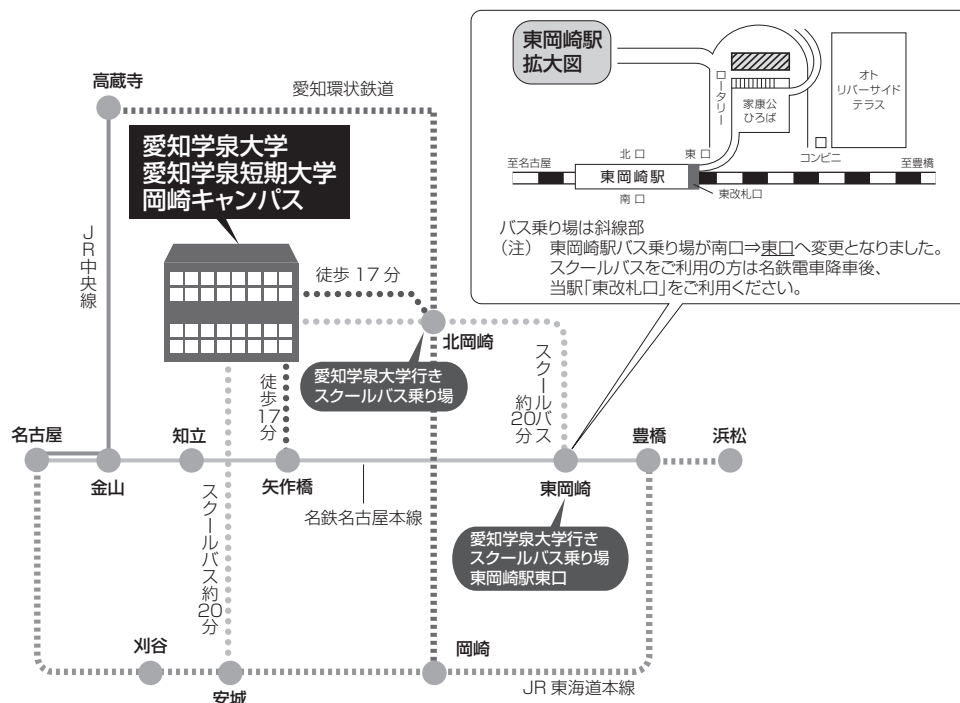
取得可能な資格は以下のとおりです。

- | | |
|--------------|--------------|
| ① 小学校教諭一種免許状 | ② 幼稚園教諭一種免許状 |
| ③ 保育士資格 | ④ 社会教育主事任用資格 |

Access

岡崎キャンパス 【家政学部】

〒444-8520 愛知県岡崎市舳越町上川成 28
TEL : 0564-34-1212 (代表)



[鉄道] 名古屋方面から

- 名鉄名古屋本線「名鉄名古屋」～「東岡崎」(所要時間約30分)
駅からスクールバスで約20分
- 名鉄名古屋本線「名鉄名古屋」～「矢作橋」(所要時間約37分)
駅から徒歩で約17分

[鉄道] 高蔵寺方面から

- 愛知環状鉄道「高蔵寺」～「北岡崎」(所要時間約60分)
駅からスクールバスで約5分または徒歩で約17分

[鉄道] 豊橋方面から

- 名鉄名古屋本線「豊橋」～「東岡崎」(所要時間約20分)
駅からスクールバスで約20分

[スクールバス] 乗り場

- 名鉄名古屋本線「東岡崎」駅東改札口より
「オトリバーサイドテラス」方面へ。
スクールバス乗り場
- 愛知環状鉄道「北岡崎」駅
スクールバス乗り場

注意

試験当日は名鉄東岡崎駅(愛環北岡崎駅経由)からの直行バスのみ運行します。JR安城駅からのスクールバスの運行は行いません。

お問い合わせ

【入試広報室】

TEL 0564-34-1215 (直通) FAX 0564-34-1216

E-mail: agu-t@gakusen.ac.jp



LINE 相談

@gakusen_univ



最新情報は、ウェブサイトでチェック！

学泉

検索

パソコンサイト ▶ <https://www.gakusen.ac.jp/u/>

SNSでも情報配信中 ▶ @GakusenUniv